

ISOE は、原子力発電所従事者の放射線防護の最適化を改善するため、事業者と規制機関の放射線防護専門家に世界的な線量低減情報や運用経験を共有するためのフォーラムを提供することを目的として、OECD/NEA により 1992 年に設立された。日本はその年に ISOE に加盟し、アジア技術センター (ATC) も同時に設立された。その後、韓国も加盟した。それ以来、原子力発電プラントの基数は増加し、被ばく低減の努力が続けられた。これまでの ATC の活動では、ナ博士と故水町氏の努力が顕著である。このプレゼンテーションでは、被ばく状況の変遷や ISOE ALARA シンポジウムなど、ATC 設立から現在までの ATC に関わる出来事及び主な活動の概要について紹介する。